

組合だより

第 232号 平成25年10月 日本羊腸輸入組合

”頑張ろう日本”

ついこの間まで暑い暑いと言いながら通勤していたかと思ったら、最近では、秋の長雨よろしく一雨ごとに涼しさがまし、最近では、肌寒く感じる気温にまでなってきました。こうなってくると栗や柿、リンゴなどの秋の味覚の便りも届きます。大自然は上手くしたもので、寒さや日光、所によっては川面から立ち上がる靄や霧がないと甘味、酸味の割合が変化しないそうです。それよりも大事なのが、「人の手」だそうですから、皆様も秋の味覚等を味わう時は、先ず、作り手への感謝の気持ちを表してから、食してください。

1. 組合の活動報告

検査委員会の開催

9月6日、新山下検査所及び横浜検査所を対象に、検査委員会が開催された。この2検査所は、本年2月にも視察を行っており、指摘事項は少なかったし、指摘に対する説明も納得の行くものでした。

更に、検査委員会では、3. 今後の日程のところにも書きましたが、10月16日(水)に、各検査所の検査職の方々を新山下検査所に集めて、検査の標準化のため検査講習会を開催することが決定しております。新山下検査所の皆様、お世話になります。

第4回 理事会の開催

9月18日、第4回理事会が開催されました。理事会では、関内外市場調査・弘報委員長から8月に開催した委員会で決定した、今年度の活動方針や、来年2月に開催されることが理事会で承認された勉強会の開催等が話題となりました。この勉強会については、具体性が高まった段階で、お知らせ致します。

更に、この理事会では、9月6日に新山下、八幡橋検査所で開催された検査委員会の報告を玉川委員長の代理で、小澤からさせて頂きました。両検査所は、本年2月にも検査委員会による検査を実施したばかりで、今回は、余り指摘事項も出なかったことを報告しました。

その他、検査委員会で提案があった、輸入ケーシングの消毒・検査実施要領及び検査所における衛生管理システム(修正後)の組合のHPの会員ページへのUPも承認されました。

更に、創立50周年記念誌の作成は、予定通りの進捗であることを報告させて頂きました。

さて、財務省通関統計によれば、8月の天然ケーシングの総輸入量は、254.5トンで、前年同月に比べ約120.2トンの減少(-32.1%)でした。国別では、中国からの輸入が161.4トンで、前年同月に比べ91.5トンの減少(-36.2%)でした。同様に、オーストラリアからの輸入は33.5トンで、前年同月に比べ8.9トンの増加(+36.1%)となり、ニュージーランドからの輸入は34.7トンで前年同月に比べ58.3トン減少(-62.7%)となりました。

平成25年9月の組合受付数量は、811,114ハックスと前月に比べ35,468ハックス減少(-4.2%)でしたが、対前年同月比で見ると110,042ハックスの増加(+15.7%)でした。

*平成25年9月の組合受付数量

船舶	771,614	ハンク	
航空	39,500	ハンク	
合計	811,114	ハンク	(対前年同月比 115.7%)

*平成25年度(4月～3月まで)の組合受付数量

4,325,112 ハンク

2. 検査所だより

成田検査所の動向

9月の航空貨物の受付数量は39,500Hksで、対前月比37.4%の増加となりました。これらの貨物に対する消毒・検査業務は順調に行われ、全ての貨物が受け付け後1週間以内に完了しております。9月6日に行われた検査委員会において指摘された事項で、成田検査所にもかかわることは直ちに改善いたしました。

「暑さ寒さも彼岸まで。」とはよく言ったもので、一気に涼しくなってきました。職員一同風邪などひかないように、こまめに手洗い、うがいなどを行い体調管理に努めてまいります。

平成25年9月分受付数量及び消毒等実績

種	類	前月からの繰越	受 付	消 毒	翌月への繰越
航空	羊 腸	0	39,500	39,500	0
	豚 腸	0	0	0	0
	合計	0	39,500	39,500	0
船舶	羊 腸	16,000	16,500	32,500	0
	豚 腸	0	4,500	4,500	0
	合計	16,000	21,000	37,000	0
合計	羊 腸	16,000	56,000	72,000	0
	豚 腸	0	4,500	4,500	0
	合計	16,000	60,500	76,500	0

(単位：羊・豚腸：ハンク、牛腸：バンドル)

横浜検査所の動向

9月6日(金)に平成25年度第2回検査委員会が新山下及び横浜検査所で実施され、指摘事項について改善検討を図ることとした。

9月12日(木)に動物検疫所新規採用職員(2名)、インターンシップ(2名)が、消毒業務及び施設の視察研修を行った。

(9月の受付数量と消毒数量)

1. 9月の受付数量は771,614Hksと前月に比べて46,218Hks減少し、前月比94.3%となった。
2. 9月の消毒数量(横浜検査所)は、337,498Hksで、前月に比べ53,176Hks増となった。
3. 9月の成田検査所への転送は、21,000Hks(9月13、18日)でした。
4. 消毒終了予定

消毒貨物が順調に搬入された場合の消毒終了予定は、25年10月28日(月)です。(成田転送分を含む。)

注:消毒予定の順番は、当分の間、搬入期日が決まった順に消毒することにしていきますので、消毒終了予定が受付番号順と異なることがあります。

5. 9月の受付数量、消毒数量、成田転送状況は、次のとおりです。

種別	前月の 繰越分	受 付 数 量	消 毒 数 量			成田転送 数 量	翌月への 繰 越 分
			横 浜	新山下	小 計		
羊腸	566,060	739,014	331,448	301,032	632,480	21,000	651,594
豚腸	18,550	32,600	6,050	8,000	14,050	0	37,100
計	584,610	771,614	337,498	309,032	646,530	21,000	688,694
牛腸	0	0	0	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸：ハンク、牛腸：バンドル)

新山下検査所の動向

残暑とも思えぬ暑さの続く中、列島を縦断し、大きな被害をもたらした大型の台風18号が過ぎ去るとともに過ぎやすい季節になり、各地から紅葉の便りも聞かれるようになってまいりました。

職員一同、体調管理に注意し日々の業務を行っております。

平成25年度第2回検査委員会が9月6日(金)に横浜、新山下検査所合同で開催されました。同委員会で施設面についての指摘がありましたので、早急に検討、改善を行っております。

当所の9月受付数及び消毒数は、下表の通りです。

種別	前月の 繰越分	受 付 数 量	消 毒 数 量	翌月への 繰 越 分
羊腸	46,670	302,862	301,032	48,500
豚腸	0	8,000	8,000	0
計	46,670	310,862	309,032	48,500
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸：ハンク、牛腸：バンドル)

3. 今後の予定

10月16日(水)	9:00	検査職研修会(於:新山下検査所)
10月23日(水)	11:00	厚生労働省監視安全課訪問
	12:15	正副理事長会議
11月 5日(火)		日本羊腸輸入組合創立記念日(50周年)(休日)
11月18日(月)	15:00	Hans INSCA会長との懇談会等
11月20日(水)	12:00	第5回理事会

* 事務局からのお願い

11月18日(月)に、INSCAの会長が来日されることになっており、皆様方のお手元に、当日の午後3時からの懇談会及び午後5時30分から五反田駅近くのレストランで開催される歓迎レセプションへのご案内が届いていると思います。

この歓迎レセプションは、組合の今年度の緊縮財政の中での予算には組み込まれていない出費となることから、理事会のご承認を得て会費制とさせて頂き、参加者お一人様2,000円を徴収させて頂くこととなりましたので、宜しくお願い致します。

また、皆様方、大変ご多忙のところとは思いますが、ご参加の程、宜しくお願い致します。

以 上